令和6年度 第37回
日本最優秀鳩舎賞

新井 繁鳩舎（埼玉連盟・埼玉北辰連合会）



14年ぶりに「日本一」返り咲き！
新規程トップの成績で「日本最優秀鳩舎賞」受賞！

日本優秀鳩舎賞は、全戦力をもって競われる〝無差別級〟タイトルとあって、協会最高賞としての認識が高い。全国1位にあたる「日本最優秀鳩舎賞」は、男なら誰しもが一度は憧れる「最強」の称号である。令和6年度は北は北海道、西は北陸から計36鳩舎が規程をクリア。とりわけ受賞のボーダーラインとされる「10％台」に集中し、前回の日本一・岡澤豊次鳩舎（北総）を筆頭に僅差でベストテン入りを逃す〝最強候補〟たちが目立った。一方の頂点争いは、同賞8回目の受賞を決めた新井 繁鳩舎（埼玉北辰）がアタマ一つ抜ける形で「日本最優秀鳩舎賞」に選出。かつ新規程最高成績で、14年ぶりに「日本一」に返り咲いた。

8回目　入賞率合計：0.03055

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	23KA20526	B	♀	7,332羽	13位	0.00177
	23KA20483	BC	♀	7,332羽	14位	0.00191
	23KA20556	B	♀	7,332羽	15位	0.00205
地区 N	22KA04599	BC	♂	6,000羽	18位	0.00300
	23KA20479	BC	♀	6,000羽	35位	0.00583
	22KA00086	B	♂	6,000羽	43位	0.00717
GP	21KA03931	BC	♀	4,227羽	3位	0.00071
	23KA20526	B	♀	4,227羽	23位	0.00544
桜花賞	23KA20479	BC	♀	1,872羽	1位	0.00053
	23KA20484	BC	♀	1,872羽	4位	0.00214

新井　繁鳩舎（埼玉北辰）のプロフィール

- **鳩　　歴**：57年　・**レース歴**：51年
- **鳩舎規模**：種鳩５坪160羽　選手鳩５坪160羽
- **主力系統**：白鶴系、中田ボルドー系、奥住 豊鳩舎の飛び筋
  檜山郁夫鳩舎の飛び筋、覚松系
- **代表翔歴**：ダイヤモンドマーク賞、KBDB会長賞全国優勝
  ブロックCH賞４回
  Rg、GP、桜花賞、東日本CH各総合優勝
  東日本稚内GN総合４位・５位・８位

24年春のスタート羽数：130羽（うち成鳩23羽）

新規程トップの入賞率で日本一に返り咲き！

88年に設立された「日本優秀鳩舎賞」は、公式に競翔家の頂点を決めるタイトルである。受賞圏内は上位10鳩舎。規程レースと対象羽数は「全日本ゼネラルCH賞」と同じものだが条件や制約はなく、純粋に総合力を競うものであり、格闘技でいうところの「無差別級」といったところか（＊規程は6頁）。それゆえ「日本優秀鳩舎賞」こそ協会最高賞であり、全国1位となる「日本最優秀鳩舎賞＝（イコール）日本一」という認識が非常に強い。

令和6年度は36鳩舎が申請する中、受賞者は昨年の本誌7月号で速報という形で発表。日本一経験者が4鳩舎もラインクインするなど、顔ぶれは誰しもが知る著名鳩舎ばかりだ。然るべき面々が揃う中、とりわけ埼玉連盟所属の競翔家が4枠を占めており、「鳩レースのメッカ」としての存在感を大きく示している。

うち**新井 繁鳩舎（埼玉北辰）**が、自身2度目となる「日本最優秀鳩舎賞」に選出。**合計入賞率は「0．03055」**であり、この数値は19年度から施行された新規程でトップだ。内容でも本号の表紙――東日本CH総合優勝を収めた1羽が「ベルギー王立愛鳩家協会会長賞」のトップに選出！　日本最大のレース、協会APでも「1番」という前回以上のインパクトを残し、14年ぶりの返り咲きとなっている。

鳩友のサポートのおかげで本領発揮！

ゆえに24年春は、新井鳩舎にとってまごうことなき、キャリアハイだ。しかしこの1年の軌跡を辿ってみると、順風どころかレースに参加できるか否かのアクシデントからスタートしたといって過言ではない。遡ること23年の10月――草刈りをしていたところ腰を痛めてしまい、数日後には足のしびれまで発症。診断結果は「脊柱管狭窄症」と「椎間板ヘルニア」だった。通院するも腰痛としびれは逆に常態化してしまい、掃除や給餌、そして鳩を掴むことさえ困難な状況に。痛みによる睡眠不足も重なり、秋レースの成績も思わしくなかった。

年が明け、転院したことを機に回復のきざしはあったが、不安を抱えたまま春レースが開幕。ここでホワイトナイトが現れた。同じ連合会の関根隆春氏である。彼の献身的なサポートが功を奏して管理、持ち寄りでのストレスが大きく解消。とりわけ訓練での同行は運転という面で非常に助かったという。

おかげで例年通りの調整を行えたことで、日本優秀鳩舎賞の緒戦となるRgを連合会ベスト3独占。総合でも総合13位、14位、15位の固め打ちを披露した。続く地区Nはその関根氏に連合会のトップを譲るも2位から5位までタテ続けに入賞し、また総合では規程3羽全て1%内に叩き込む。

地理的上、鬼門となっていた内地2レースを難なくクリアしたことで、日本優秀鳩舎賞を改めて意識したという新井鳩舎。当人含め周囲曰く、ベストコンディションに仕上げたGPでは、総合3位と今季初のシングル入り。飼育環境は一貫してナチュラルであるが、GPまではイレギュラーとなる〝抱卵〟のメスによる成果だった。2番手も「0．5%台」にとどめると、合計は「2%台」に。結果、地区N時点で上位を占めていた千葉東連盟勢を一気に追い抜き、トップに躍り出る。自己採点しても同様だったようで、となれば桜花賞には自ずと力が入るものだ。飼育環境を自鳩舎の定石「抱卵」に変更し、ベストだと考える「1週間目」を意識する。しかし30ペア以上と数が数だけに時期はバラバラとなった。なおレースまで2週間近くになりそうな場合は、産卵した時点で卵を抜いている。

調教面では前述の通り、状態が上がりきってしまった感があったことで舎外は鳩なり。出舎してもその多くが庭で遊んでいたようだが、この居心地の良さが鳩舎への愛着を強めるという。とはいえ運動不足は否めないため、訓練でカバー。「宇都宮」からを4回実施したとのことだが、多くの目撃証言から、それ以上に行っていた可能性が高い。なお放鳩すると50分以内で帰還しており、都度、抱卵効果を実感していたようだ。給餌は確実に栄養補給をさせるため、メスは3回に小分けにして食べさせている。

自身が考えうるベストの調整とあって、持ち寄り時の仕上がりは満足できるものだった。曰く「人事を尽くして天命を待つ」の精神で最終レースに臨めたとのことだが、結果は既述した通り。KBDB会長賞との二冠も収めた総合優勝鳩は、抱卵1週間目であったことを追記しておこう。

日本優秀鳩舎賞の賞レースでは、2羽目が総合4位に入り、はれて画竜点睛となったというわけだ。

埼玉の勝ち筋の権化――白鶴系2つの黄金交配が覚醒！

とはいえ鳩レースは血統がものをいうブラッドスポーツ。新井鳩舎自身も血統が7割だと考えている。ポイントゲッターを紐解くと8羽中7羽が、自身の手になじみ切った自系統――「白鶴系」。地元・岩槻の「白鶴城」を由来とし、バルセロナ1N優勝の〝モナリザ（＊〝ガトリス45〟重近親）〟とファンブリアーナの〝メルクス（〝オードスチール〟近親）〟の血で作られた〝白鶴号〟が源鳩だ。鳩友・奥住 豊鳩舎（埼玉中央）と中田幸雄鳩舎（埼玉南部）を筆頭に埼玉での勝ち筋との交配を40年以上の月日を重ねて練り上げ、その戦歴から全国レベルの飛び筋といって過言ではない。現在は2つの黄金交配が核となっており、貢献鳩7羽ともいずれか、あるいは両方が絡んでいる。うち6羽が「白鶴421×上田678」からなるゴールデンペアⅡであり、2年前にも〝白鶴エースクイン〟という当時の最高傑作を生



23年10月に腰を負傷してしまった**新井 繁氏（左）**を同じ連合会の関根隆春氏（右）が持ち寄りや訓練に同行するなどサポート。まさしく2人で勝ち取った日本一だ。

日本最優秀鳩舎賞のポイントゲッター総覧

表紙の鳩

地区N6,000羽中総合35位
桜花賞1,872羽中総合優勝

"白鶴トップクイン号"
23KA20479 BC ♀ 新井 繁 作翔
＊他の翔歴は表紙参照

- 16KA22203 B 新井 繁 作
  直仔／**23年ゴールドエクセレントピジョン**
  22年日本エースピジョン賞全国10位
  21年GP700K 優勝・総合10 位
  - 07KA09376 B 奥住・新井共同 作
    "白鶴247"(ゴールデンペアⅠ"白鶴GN"×"白鶴天塩"」の直仔)×05年千葉桜花賞総合優勝
    - 10HS05697 B 竹井芳明 作 ドブルイン作の娘
      直仔／**14年ゴールドエクセレントピジョン**
- 19HB13511 BCW 峯島光弘 作 新井 繁鳩舎種鳩
  09年東日本稚内GN総合３位(白鶴系)×
  14年東日本稚内GN北関東連盟７位

地区N6,000羽中総合43位

22KA00086 B ♂ 新井 繁 作翔

- 18KA20248 B 新井 繁 作翔 19年春Rg総合２位
  - 11KA25274 B 鈴木 隆 作
    "ナショナルウィナー"(09年地区N700K総合優勝)の直仔
    - 14HS08199 B 竹井芳明作
      ボウデンNPO優勝×シモンズ兄弟作翔(優勝３回)
- 17HF06261 BC 野中 博作 全兄弟／18年桜花賞総合２位
  - 16LB10504 B プリモロフト作
    "ゴールドハリー"("ハリー"×"ラストワン")×
    "フレンドシップ"(＊父は上記"ゴールドハリー"全兄)の全妹
    - 15DA24670 BC プリモロフト作
      "ゴールデンハリー"("ハリー"直仔)の娘

GP4,227羽中総合3位

21KA03931 BC ♀ 冨田欣宏 作出 新井 繁 使翔
＊21年地区品評会若鳩♀部一席・総合二席

- "白鶴008" 19KA12008 BC 新井 繁 作
  曾孫／**22KA04599**
  - "奥住978" 14KA32978 BC 奥住 豊 作
    "レーザ・レジデンス"(＊"カニバール"重近親)の直仔
    直仔／地区N600K中地区優勝・総合２位
    - "白鶴トリプルクイン" BC 新井 繁作翔
      10年秋Rg総合４位
      ゴールデンペアⅡ("白鶴421"×"上田678")の娘
      全姉／**"白鶴カップクイン"(09年総理大臣賞地区１位)**
      曾孫／**23KA20526**、**23KA20483** 直系／**22KA04599**、**23KA20484**
- "マリーアーム954" 15-042954 冨田欣宏 作翔
  300K３位、500K10位
  "マリールイズ" ４重近親
  直仔／300K優勝、**シルバーエクセレントピジョン**

桜花賞1,872羽中総合4位

23KA20484 BC ♂ 新井 繁 作翔

- "白鶴レジョナル" 17KA29846 B 新井 繁 作翔
  18年春Rg総合優勝
  - "白鶴グランプリ" 12KA25197 B 新井 作翔
    13年GP総合優勝 **"白鶴カップクイン"**の直仔
    曾孫／**23KA20483**、**22KA04599**
    - "白鶴746" 13KA03746 BC 新井作翔
      14年桜花賞総合５位
      "白鶴900"(ゴールデンペアⅠの直仔"白鶴247"×同娘)×
      ("レーザ・レジデンス"×"白鶴トリプルクイン")
- "白鶴894" 17KA29894 BC 新井 繁 作翔
  17年秋盛岡Rg400K優勝・総合17位
  "CHエースクイン"(04年総理大臣賞全国優勝・日本AP賞全国１位／ゴールデンペアⅠの孫)の曾孫×
  (上記**"CHエースクイン"**の父×白鶴系)

埼玉連盟 Rg7,332羽中総合13位
埼玉ブロック連盟GP4,227羽中総合23位

23KA20526 B ♀ 新井 繁 作翔

- 14KA29380(15年生) BC 新井 繁 作 直仔／18年桜花賞総合４位
  - 14KA29261 BC 新井 作翔 14年秋Rg優勝他
    直仔／18年桜花賞総合５位、**KBDB会長賞連盟１位**、
    22年東日本稚内GN総合４位
    孫／22年東日本CH総合３位
    - 11KA33575 BC 奥住 豊・新井 共同作
      "レーザ・レジデンス"(10年秋500K連盟優勝)×
      "白鶴トリプルクイン"(10年秋Rg総合４位他)
      全弟の孫／**23KA20483** 全兄弟の直系／**23KA20484**
- 16KA22214 BC 新井 繁 作 種鳩
  "ド・ジャック"(NPO超長距離ナショナルAP賞１位)直仔×"白鶴45"の娘
  直仔／23年GP総合５位他

Rg7,332羽中総合14位

23KA20483 BC ♀ 新井 繁 作翔

- 17KA29949(18年生) B 新井 繁 作 ゴールデンペアⅡの近親
  - 16KA44064 BC 奥住・新井共同作
    "レーザ・レジデンス"×"白鶴トリプルクイン"
    全姉の孫／**23KA20526** 全姉の曾孫／**23KA20484**
    - 16KA28016 B 新井作 "白鶴グランプリ"の娘
- "鈴木284号" 21KA29894 BC 鈴木 隆 作
  21年GP総合優勝×**"キャノンスター"(19年KBDB会長賞連盟１位)**

Rg7,332羽中総合15位

23KA20556 B ♀ 新井 繁 作翔

- "鈴木690号" 14KA14690 B 鈴木 隆 作
  - 13KA30343 B 鈴木 隆 作
    "CHメモリアルクイン"(13年東日本CH総合３位)の直仔
    - "ビクトリー600" 13KA42792 BC 鈴木作翔 14年600K総合優勝
- 15MM02487 B 新井 繁作 直仔／20年春Rg総合９位
  - 14KA25504 B 三村健一作
    東日本稚内GN総合２位×ファンネーノ作
    - 11KA28986 BC 新井作 ゴールデンペアⅡの娘
      全姉／**"白鶴カップクイン"(09年総理大臣賞地区1位)**他

地区N6,000羽中総合18位

22KA04599(23年生) BC ♂ 新井 繁 作翔

- 22KA28583 B 新井 繁 作翔 23年春GP700K
  - 19KA35021 冨田欣宏 作翔 秋Rg400K10位
    "白鶴457"(17年東日本CH総合9位／"白鶴247"の曾孫)の孫
    - 19KA08331 奥住 豊 作翔 19年秋400K16位
      フェルケルク作×"レーザ508"(500K優勝)
- 21KA15963 BC 新井 繁 作翔
  23年春桜花賞７位、GP７位 ゴールデンペアⅡ近親
  - 20KA19821 新井 作 異母妹／**21KA03931**
    父／"白鶴008"("奥住978"×"白鶴トリプルクイン")
    - 19KA11826 B 新井 翔 19年秋200K1,411羽中５位
      "白鶴グランプリ"の娘

み出す（＊23年1月号7頁掲）など、系統として熟成されているのは明らか。そして本号の表紙、**「23KA20479」**は、近親タイプである1――「白鶴GN×白鶴天塩」が最高種鳩〝白鶴247〟を介して流れている。

新井鳩舎にとって前回の時とは異なり、真なる評価を得た「日本最優秀鳩舎賞」の受賞を実は宿願としてきた。そしてこの度の歓喜の極みは、良き鳩友、先輩諸氏たちとの出会いによってもたらされたものだと感謝する。管理にしろ系統作りにしろ、鳩界の「O（奥住鳩舎）・N（中田鳩舎」とのいわゆる「トロイカ体制」によって磨かれてきた。個ではなく、仲間と共に鳩レースという道を歩んできた新井鳩舎らしい勝因であった。

令和6年度 第37回

2回目

日本優秀鳩舎賞・全国2位

杉山弘紀鳩舎(埼群連盟・ニュー埼玉東部連合会)



杉山弘紀鳩舎(ニュー埼玉東部)のプロフィール

- 鳩　　歴：20年　・レース歴：20年
- 鳩舎規模：種鳩40坪200羽　選手鳩10坪200羽
- 主力系統：ガストン・デプークト系、リーンブーア系
  スカーラーケンス系、A・ビーンズ系
- 代表翔歴：日本AP賞全国9位、ブロックCH賞
  春Rg、秋Rg各総合優勝2回、菊花賞連盟優勝3回
  GP総合優勝、八郷・国際ダービー400K優勝

24年春のスタート羽数：208羽（うち成鳩38羽）

規程レースオールシングル！連盟の追い風で2位――だが実は！

23年、「日本優秀鳩舎賞」と「日本AP賞」の最高賞二冠をもってして全国デビューを果たした**杉山弘紀鳩舎(ニュー埼玉東部)**。聡明な顔立ちとは裏腹に勝負師の一面をもつ同鳩舎とあって、選ばれし者の舞台に立ったことで感じた高揚感は想像するに容易い。前年に比べ50羽以上多いスタートを切っており、再びあの場所へ――全国狙いで24年春に臨んだことは明らかである。

入賞率合計：0.04597

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	23HL00111	BC	♀	2,188 羽	7 位	0.00320
	22HL04586	B	♂	2,188 羽	8 位	0.00366
	23HL00342	B	♀	2,188 羽	9 位	0.00411
地区 N	23HL04787	BW	♀	1,698 羽	5 位	0.00294
	23HR00430	BCW	♂	1,698 羽	6 位	0.00353
	23HL00109	B	♀	1,698 羽	14 位	0.00824
GP	23HL00373	B	♀	1,217 羽	2 位	0.00164
	23HL00187	BC	♂	1,217 羽	7 位	0.00575
桜花賞	23HR00430	BCW	♂	620 羽	3 位	0.00484
	23HL00145	S	♀	620 羽	5 位	0.00806

そして杉山鳩舎は、規程4レース全て総合シングル入りという前年と近い戦果を残した。前年とは異なり、パーフェクトこそ逃したものの、今年から埼群連盟は「日本優秀鳩舎賞」を意識した日程――地区NとGPが同一鳩で参加できるような試みを行ったことで分母が大幅にアップ。この追い風によって合計入賞率は高まり、「日本優秀鳩舎賞」2年連続受賞、かつ8ランクアップの日本2位――全国2位に輝いた。

ポイントゲッターの多くに主力系統が絡み、うち3羽（Rg総合7位・8位、GP総合2位）が前述の日本AP賞の父方祖父母にあたる〝DE03ボーイ(デプークト系)〟×〝シルク651(デプークト系×リーンブア系)〟の孫。このような当たり配合が発掘されるなど、20年余の月日で練り上げたオリジナルラインが、熟成されつつあることに間違いない。一方、〝それ〟候補として導入した「アルヤン・ビーンズ系」も自鳩舎だけでなく、最も貢献した「**23HR00430（長島祐二鳩舎作）**」にも絡んでおり、この度主力に昇華した模様だ。

そしてこれらの勝ち筋は昨秋のRgでベスト5独占を演出。ちなみにかつてのような年間タイトルであったら、「日本最優秀鳩舎賞」受賞必至となる好入賞率でフィニッシュとなっている。ポテンシャルからして、今回のランキングが画竜点睛になることはないはずだ。杉山鳩舎のこれからにも注目したい。

日本最優秀鳩舎選考規程

第1条（目的）
本規程は、レース鳩の形質の改良を図るために、各種レースに於いて優秀な成績を収めた鳩舎を表彰することを目的とする。

第2条（選考基準）
前条の目的を達成するために必要な基準を次の通り定める。
対象レース　選考対象レースは下記レースとする。
(1) 春季Rgレース
(2) 地区Nレース
【下記の3レースより2レースを選択する。】
(3) 桜花賞レース
(4) GPレース（連盟序列）
(5) GNレース（連盟序列）

申請資格　申請する対象4レースにおいて、次の範囲と羽数で合計10羽の鳩が入賞していること。
(1) 春季Rgレース 上位5%以内に3羽
(2) 地区Nレース 上位5%以内に3羽
【下記の3レースより2レースを選択する。】
(3) 桜花賞レース 上位10%以内に2羽
(4) GPレース 上位10%以内に2羽
(5) GNレース 上位10%以内に2羽 合計10羽

第3条（申請手続）
地区連盟単位に6月末日迄を必着として協会交付の申請用紙にて申請を行うこと。但し、1連盟10鳩舎迄の申請とし、個人の合同委託鳩舎を除く。
（註：合同委託鳩舎とは、鳩が有償で委託される鳩舎又は譲渡者の受益に限って委託される鳩舎をいうものとする。従来の共同鳩舎についてはこの限りでない。）
前項の期日を過ぎた申請は、原則として受理しないものとする。

第4条（選考方法）
下記の計算方法にて全国ランキングを決定し、授賞順位とする。
計算方法　対象4レースの10羽（第2条・2に記載）それぞれの入賞率を計算し、
その合計点数の小さいものを上位とする。
【入賞順位÷
　レース参加羽数（小数点以下6桁目四捨五入）】

第5条（授賞）
下記の通りの授賞を行う。
日本最優秀鳩舎賞　1鳩舎　賞状・記念品／日本優秀鳩舎賞　9鳩舎　賞状・記念品
但し、第4条の計算にて同点数の場合は、それぞれ同等の授賞とする。表彰式は1月に行う。



令和6年度 第37回

6回目

日本優秀鳩舎賞・全国3位

鈴木 隆鳩舎（埼玉連盟・埼玉北葛連合会）

鈴木　隆鳩舎（埼玉北葛）のプロフィール

- **鳩　　歴**：54年　・**レース歴**：54年
- **鳩舎規模**：種鳩18坪120羽　選手鳩18坪150羽
- **主力系統**：スプリングストームライン、エースピジョントリプルライン
- **代表翔歴**：プラチナマーク賞、日本AP賞全国5位 スーパーエクセレントP、ブロックCH賞2回 600K、地区N、GP、桜花賞、東日本CH各総合優勝

24年春のスタート羽数：147羽（うち成鳩23羽）

入賞率合計：0.05283

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	23KA14019	BC	♀	7,332羽	26位	0.00355
	23KA14092	B	♀	7,332羽	47位	0.00641
	22KA30724	BC	♀	7,332羽	67位	0.00914
地区N	21KA02665	B	♀	6,000羽	14位	0.00233
	23KA14096	BCW	♀	6,000羽	30位	0.00500
	23KA14015	BC	♀	6,000羽	37位	0.00617
GP	23KA14112	BC	♀	4,227羽	5位	0.00118
	23KA14121	BC	♀	4,227羽	6位	0.00142
桜花賞	23KA15866	B	♀	1,872羽	12位	0.00641
	23KA14150	BC	♀	1,872羽	21位	0.01122

鳩質の極まりが体現！協会タイトル五冠のキャリアハイ！

継続こそ力なり――。**鈴木 隆鳩舎（埼玉北葛）**は13年に初受賞で頂点を射止めて以来、安定して日本優秀鳩舎賞に絡み、3年連続のかかる令和6年度もはれて選出され、受賞回数を6に更新した。ランキングは全国3位であり、同鳩舎はこれでベスト3全てを獲得。いわゆる「金銀銅の制覇」は、歴代で3鳩舎しか達成しておらず、快挙といって過言ではない。

しかも24年は全日本ゼネラルCH賞で全国2位となる「プラチナダイヤモンド賞」、そして「日本AP賞」という協会が誇る最高賞三冠を達成。うち日本AP賞の受賞鳩**「21KA02665」**はスーパーエクセレントピジョンにも認定されており、また〝美の祭典〟全国レース鳩品評会において総合三席を射止め、協会タイトル五冠で24年を締めくくっている。

鈴木鳩舎にとって、キャリアハイとなったわけだが、調整法は日本優秀鳩舎賞の座談会での発言からすると、すでに完成されているといって過言ではない。となると変化――進化は系統面ということ。少なからず鳩質が大きくかかわる「日本AP賞」は初、「品評会」では約40年ぶりの成果であり、ヤンセン系の〝スプリングストーム〟と〝エースピジョントリプル〟を源鳩とする自系統は、白鶴系を導入したことで東日本CH制覇――極みの領域に達したと思われたが、奥住　豊鳩舎の〝ブロアレーザ〟、KANDA LOFT経由の〝ボーイマンス〟といった前述2羽のルーツ――「ヤンセン系の今」を迎え入れたことで、さらに成長したと考えられるのではなかろうか。

ともあれ、ここにきて**「21KA02665」**というレース鳩の最高賞二冠のスーパーCHが生まれるなど、今回日本最優秀鳩舎賞を射止めた新井 繁鳩舎（埼玉北辰）の2年前の状況と似ている…。日本一返り咲きどころか、〝史上初コレクター〟でもある鈴木鳩舎とあって、ゼネラルCHの結果を踏まえ「オリエンタルチャンピオン」を手にしてしまうかもしれない。

日本優秀鳩舎賞受賞回数（3回以上）

※所属は2024年時点

12回	
河原雅基鳩舎	（京浜連合会）↑
9回	
奥住　豊鳩舎	（埼玉中央連合会）
及川　茂鳩舎	（新日本連合会）
8回	
うさぎロフト	（茨城北連合会）
新井　繁鳩舎	（埼玉北辰連合会）↑
藤田淳一鳩舎	（元・尾北第三連合会）
7回	
高塚久雄鳩舎	（茨日連合会）
石川誠二鳩舎	（川崎連合会）
岩田誠三鳩舎	（元・東海連合会）
6回	
鹿島成浩鳩舎	（武蔵野連合会）
鈴木　隆鳩舎	（埼玉北葛連合会）↑
5回	
阿内益雄鳩舎	（元・茨城セントラル連合会）
飛田輝明鳩舎	（茨城北連合会）
黒田哲夫鳩舎	（元・上総連合会）
KANDA LOFT	（鎌ヶ谷中央連合会）
早乙女節夫鳩舎	（ニュー横浜連合会）
横地光彦鳩舎	（静岡県連合会）
神谷　中鳩舎	（元・尾北連合会）
大橋憲夫鳩舎	（岐阜県連合会）
4回	
小川安都志鳩舎	（東金セントラル連合会）↑
吉田三男鳩舎	（東愛知連合会）
増田和雄鳩舎	（尾張連合会）
3回	
西野宮秀夫鳩舎	（元・日立連合会）
一文字ロフト	（茨城東連合会）
浅野　栄鳩舎	（鹿島連合会）
中田幸雄鳩舎	（埼玉南部連合会）
植竹道夫鳩舎	（元・埼玉連合会）
今田俊児鳩舎	（下総中央連合会）
宍戸　馨鳩舎	（東金セントラル連合会）
森川浩吉鳩舎	（上総連合会）
ピグマリオンロフト	（常総中央連合会）↑
柴田茂昭鳩舎	（東京南部連合会）
永井　勇鳩舎	（元・新日本連合会）
中村・有田共同鳩舎	（東愛知連合会）
小林晴夫鳩舎	（愛知三州連合会）
加藤正祝鳩舎	（東海連合会）
海老利明鳩舎	（富山連合会）
三宅博幸鳩舎	（元・倉敷連合会）

秀鳩舎賞 全国4位～10位

小川安都志鳩舎
（千葉東連盟・東金セントラル連合会）

4回目



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	22LK05170	BCW	♀	5,705 羽	14 位	0.00245
	23LK05815	B	♀	5,705 羽	44 位	0.00771
	23LK05835	BC	♀	5,705 羽	45 位	0.00789
地区 N	23LK05869	B	♂	4,698 羽	15 位	0.00319
	22LK05085	B	♀	4,698 羽	31 位	0.00660
	23LK05815	B	♀	4,698 羽	39 位	0.00830
GP	23LK01421	BC	♀	3,435 羽	21 位	0.00611
	23LK05934	B	♀	3,435 羽	29 位	0.00844
桜花賞	23LK05937	BC	♀	1,016 羽	5 位	0.00492
	23LK01411	BC	♀	1,016 羽	16 位	0.01575

入賞率合計：0.07136

ピグマリオンロフト
（平成千葉連盟・常総中央連合会）

3回目



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	23LC10711	B	♀	2,944 羽	1 位	0.00034
	23LC10623	S	♀	2,944 羽	2 位	0.00068
	22LC05247	BC	♀	2,944 羽	7 位	0.00238
地区 N	22LC05247	BC	♀	2,345 羽	1 位	0.00043
	23LC10669	BC	♀	2,345 羽	8 位	0.00341
	23LC10610	B	♂	2,345 羽	11 位	0.00469
GP	22LC05232	B	♀	1,578 羽	16 位	0.01014
	23LC10676	BC	♀	1,578 羽	21 位	0.01331
桜花賞	23LC10652	BC	♂	492 羽	10 位	0.02033
	23LC10673	B	♀	492 羽	11 位	0.02236

入賞率合計：0.07807

鳥飼　正鳩舎
（埼玉連盟・埼玉大和連合会）

初受賞



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	23KA29920	B	♀	7,332 羽	11 位	0.00150
	23KA30068	BC	♀	7,332 羽	48 位	0.00655
	23KA29928	B	♂	7,332 羽	107 位	0.01459
地区 N	23KA30082	BC	♂	6,000 羽	19 位	0.00317
	23KA30068	BC	♀	6,000 羽	102 位	0.01700
	22KA10428	BC	♀	6,000 羽	104 位	0.01733
GP	22KA11312	DC	♀	4,227 羽	37 位	0.00875
	23KA29923	B	♂	4,227 羽	49 位	0.01159
桜花賞	23KA30088	B	♀	1,872 羽	7 位	0.00374
	23KA30014	BC	♀	1,872 羽	14 位	0.00748

入賞率合計：0.09170

柳田雅幸鳩舎
（千葉東連盟・北総連合会）

初受賞



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	23LK03182	B	♀	5,705 羽	6 位	0.00105
	23LK03148	B	♂	5,705 羽	59 位	0.01034
	22LK03359	B	♂	5,705 羽	91 位	0.01595
地区 N	23LK03191	B	♂	4,698 羽	40 位	0.00851
	23LK03181	B	♀	4,698 羽	46 位	0.00979
	22LK03316	B	♀	4,698 羽	91 位	0.01937
GP	23LK03186	BC	♀	3,435 羽	12 位	0.00349
	23LK03127	チョコ	♀	3,435 羽	24 位	0.00699
桜花賞	23LK09383	B	♀	1,016 羽	11 位	0.01083
	22LK03303	BC	♀	1,016 羽	15 位	0.01476

入賞率合計：0.10108

令和6年度 第37回日本優



入賞率合計：0.10574

芝崎元彰鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)

初受賞

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	22KA31070	BC	♂	7,332羽	40位	0.00546
	21KA03898	BC	♀	7,332羽	87位	0.01187
	23KA15425	B	♀	7,332羽	126位	0.01718
地区 N	23KA15463	BC	♂	6,000羽	13位	0.00217
	23KA15482	B	♀	6,000羽	39位	0.00650
	23KA15439	BC	♀	6,000羽	40位	0.00667
GP	23KA15439	BC	♀	4,227羽	42位	0.00994
	23KA15464	B	♀	4,227羽	122位	0.02886
桜花賞	23KA15482	B	♀	1,872羽	15位	0.00801
	23KA15385	BC	♂	1,872羽	17位	0.00908



入賞率合計：0.11114

本橋博美鳩舎
(東京多摩連盟・多摩東部連合会)

2回目

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	21MK05939	BC	♂	1,041羽	6位	0.00576
	22MK06882	BC	♀	1,041羽	7位	0.00672
	23MK05323	BW	♀	1,041羽	8位	0.00768
地区 N	22MK06820	B	♂	657羽	1位	0.00152
	23MK05329	DC	♀	657羽	5位	0.00761
	22MK06884	B	♀	657羽	6位	0.00913
GP	23MK05319	RCW	♀	253羽	3位	0.01186
	23MK05292	B	♂	253羽	5位	0.01976
桜花賞	23MK05272	BCW	♂	73羽	1位	0.01370
	22MK06863	BCW	♀	73羽	2位	0.02740



入賞率合計：0.11403

河原雅基鳩舎
(東京東連盟・京浜連合会)

12回目

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	22MA03526	B	♂	1,230羽	1位	0.00081
	23MA02246	B	♂	1,230羽	13位	0.01057
	23MA02270	B	♀	1,230羽	15位	0.01220
地区 N	23MA02282	B	♀	967羽	4位	0.00414
	22MA03531	B	♀	967羽	6位	0.00620
	22MA03486	BP	♂	967羽	13位	0.01344
GP	23MA02191	BP	♀	543羽	9位	0.01657
	23MA02131	B	♀	543羽	20位	0.03683
桜花賞	23MA02185	B	♂	226羽	1位	0.00442
	23MA02232	B	♂	226羽	2位	0.00885

令和6年度 日本優秀鳩舎の規程クリア鳩舎　一覧　※24年度社員名簿順

申請鳩舎	合計入賞率
北澤　理鳩舎(千葉東連盟・上総連合会)	0.13298
武田　孝幸鳩舎(平成千葉連盟・松戸東部連合会)	0.16446
鈴木　邦男鳩舎(平成千葉連盟・常総中央連合会)	0.11659
小板橋　渡鳩舎(平成千葉連盟・柏連合会)	0.13156
泉水　雅巳鳩舎(千葉南連盟・木更津連合会)	0.21529
及川　茂鳩舎(東京中連盟・新日本連合会)	0.14314
本橋　明鳩舎(東京西連盟・鳳連合会)	0.18551
篠崎　金一鳩舎(東京西連盟・武蔵野連合会)	0.34575
加藤　正祝鳩舎(東海連盟・東海連合会)	0.23582
下村　健造鳩舎(北陸北連盟・富山連合会)	0.20565
北口　純一鳩舎(北陸南連盟・金沢連合会)	0.14890
吉田　憲二鳩舎(北陸南連盟・金沢連合会)	0.17221
杉田　政雄鳩舎(北陸南連盟・福井県連合会)	0.28776

申請鳩舎	合計入賞率
本間　正明鳩舎(北海道北部連盟・札幌連合会)	0.24834
阿部　憲鳩舎(青森連盟・青森中央連合会)	0.13476
古川　正鳩舎(青森連盟・北都連合会)	0.16939
矢口　忠鳩舎(茨城連盟・常陸小川連合会)	0.16531
藤井　博愛鳩舎(茨城連盟・茨城西連合会)	0.12890
川澄　栄鳩舎(東坂東連盟・真岡連合会)	0.23457
小田　義光鳩舎(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)	0.15278
奥住　豊鳩舎(埼玉連盟・埼玉中央連合会)	0.16674
鈴木　周一鳩舎(埼玉連盟・埼玉中央連合会)	0.17798
星野　繁雄鳩舎(埼玉連盟・埼玉中央連合会)	0.19760
冨田　欣宏鳩舎(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)	0.11775
塩田ロフト　(千葉連盟・大千葉連合会)	0.16896
岡澤　豊次鳩舎(千葉東連盟・北総連合会)	0.12308

歴代受賞者

88年～91年、
19年～24年は春レースのみ対象

＊所属は受賞当時
11年(第24回)と20年(第33回)は授賞なし

第13回　2000年

最優秀	小林　晴夫	鳩舎	愛知三州連合会
2位	神田　隆夫	鳩舎	常南連合会
3位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
4位	今宮　健二	鳩舎	東総連合会
5位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
6位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
7位	加藤　正祝	鳩舎	東海連合会
8位	香山　光男	鳩舎	岐阜県連合会
9位	鈴木喜美男	鳩舎	ニュー仙南連合会
10位	岡田　憲明	鳩舎	東京南部連合会

第14回　2001年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
2位	永谷　準一	鳩舎	みかわ連合会
3位	小泉　義彦	鳩舎	日東連合会
4位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
5位	水野・渡辺	鳩舎	東愛知連合会
6位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
7位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
8位	上野　裕介	鳩舎	東金セントラル連合会
9位	関町　幹雄	鳩舎	茨城東連合会
10位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会

第15回　2002年

最優秀	中田　幸雄	鳩舎	埼玉南部連合会
2位	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
3位	長島　祐二	鳩舎	常総中央連合会
4位	姚　輝雄	鳩舎	成田連合会
5位	秋山　剛史	鳩舎	埼玉北葛連合会
6位	及川　茂	鳩舎	新日本連合会
7位	古田　賢	鳩舎	尾張連合会
8位	平田兄弟	鳩舎	関東中部連合会
9位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
10位	酒井　英男	鳩舎	埼玉吉川連合会

第16回　2003年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
2位	永井　勇	鳩舎	新日本連合会
3位	モンキーロフト	日光鳩軍団連合会	
4位	石崎　一男	鳩舎	ニュー東京連合会
5位	プリモロフト	房総連合会	
6位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
7位	丹羽　和一	鳩舎	三重第三連合会
8位	海野　和夫	鳩舎	静岡中央連合会
9位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
10位	松井冨士男	鳩舎	西多摩連合会

第17回　2004年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	ベイ東京連合会
2位	今井　雅之	鳩舎	姫路連合会
3位	中田　幸雄	鳩舎	埼玉南部連合会
4位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
5位	早乙女節夫	鳩舎	ニュー横浜連合会
6位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
7位	神田　隆夫	鳩舎	常南連合会
8位	鹿島　成浩	鳩舎	武蔵野連合会
9位	中村・有田	鳩舎	東愛知連合会
10位	新井　繁	鳩舎	埼玉北辰連合会

第18回　2005年

最優秀	河原　雅基	鳩舎	ベイ東京連合会
2位	今井　雅之	鳩舎	姫路連合会
3位	早乙女節夫	鳩舎	ニュー横浜連合会
4位	及川　茂	鳩舎	新日本連合会
5位	小林　晴夫	鳩舎	愛知三州連合会
6位	鹿島　成浩	鳩舎	武蔵野連合会
7位	プリモロフト	房総連合会	
8位	羽深　茂	鳩舎	新潟春日連合会
9位	藤田　淳一	鳩舎	尾張連合会
10位	柴田　茂昭	鳩舎	東京南部連合会

第7回　1994年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	早乙女節夫	鳩舎	横浜連合会
3位	矢内　富夫	鳩舎	横浜西部連合会
4位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
5位	上楽　秀雄	鳩舎	富山連合会
6位	大高　繁	鳩舎	関東東部連合会
7位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
8位	尾張谷兄弟	鳩舎	松戸東部連合会
9位	田中　公一	鳩舎	江東連合会
10位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会

第8回　1995年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	神田　隆夫	鳩舎	鎌ヶ谷連合会
3位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
4位	大久保俊治	鳩舎	北総連合会
5位	木村　好夫	鳩舎	宇都宮連合会
6位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
7位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
8位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
9位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会
10位	山崎　育夫	鳩舎	埼玉連合会

第9回　1996年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
3位	染谷　浩樹	鳩舎	埼玉草加連合会
4位	河原　雅基	鳩舎	東京南部連合会
5位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
6位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
7位	斉木啓多郎	鳩舎	川崎連合会
8位	髙柳　修三	鳩舎	横浜連合会
9位	小沢　五郎	鳩舎	三河東部連合会
10位	嶋田　敏男	鳩舎	新東連合会

第10回　1997年

最優秀	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
2位	田中　利昌	鳩舎	日立連合会
3位	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
4位	金澤　賢二	鳩舎	五峰連合会
5位	萩原　英男	鳩舎	大千葉連合会
6位	海老　利明	鳩舎	富山連合会
7位	早乙女節夫	鳩舎	横浜連合会
8位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
9位	坂本庄一郎	鳩舎	北総連合会
10位	親松　広明	鳩舎	川崎連合会

第11回　1998年

最優秀	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
2位	大嶋　進	鳩舎	房総連合会
3位	山崎　満庸	鳩舎	房総連合会
4位	千田　久雄	鳩舎	富山連合会
5位	石川　誠二	鳩舎	川崎連合会
6位	吉野　喜一	鳩舎	埼玉北部連合会
7位	今田　俊児	鳩舎	千葉中央連合会
8位	芙蓉ロフト	東三河連合会	
9位	塩川　淳一	鳩舎	県央南連合会
10位	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会

第12回　1999年

最優秀	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
2位	加賀　邦彦	鳩舎	一関連合会
3位	横地　光彦	鳩舎	静岡中央連合会
4位	今宮　雅之	鳩舎	東総連合会
5位	谷田部　誠	鳩舎	尾張連合会
6位	上楽　秀雄	鳩舎	富山連合会
7位	中村・有田	共同鳩舎	東愛知連合会
8位	吉野　喜一	鳩舎	埼玉北部連合会
9位	鈴木　信義	鳩舎	東京南部連合会
10位	田嶋　弘	鳩舎	三重第一連合会

第1回　1988年

最優秀	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
2位	アルファロフト	宮城中央連合会	
3位	宍戸　馨	鳩舎	東金セントラル連合会
4位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会
5位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
6位	大橋　則之	鳩舎	東北宇都宮連合会
7位	宮下　博	鳩舎	下総第二連合会
8位	姚　輝雄	鳩舎	成田連合会
9位	柴田　博之	鳩舎	埼玉草加連合会
10位	秋谷　幸男	鳩舎	常南連合会

第2回　1989年

最優秀	大井　昭義	鳩舎	静岡中央連合会
2位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
3位	山口　裕	鳩舎	横浜連合会
4位	宮部二三朗	鳩舎	西湘連合会
5位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会
6位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
7位	島村　武房	鳩舎	埼玉利根連合会
8位	岩井　一夫	鳩舎	鎌ヶ谷中央連合会
9位	阿部　宏	鳩舎	長岡連合会
10位	小野　久雄	鳩舎	関東東部連合会

第3回　1990年

最優秀	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
2位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
3位	千田　久雄	鳩舎	富山連合会
4位	海老　利明	鳩舎	富山連合会
5位	越後　信行	鳩舎	鹿島連合会
6位	辻田　肇	鳩舎	鹿島連合会
7位	大嶋　進	鳩舎	房総連合会
8位	岩井　一夫	鳩舎	鎌ヶ谷中央連合会
9位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
10位	三宅　博幸	鳩舎	ニュー倉敷連合会

第4回　1991年

最優秀	三上　一也	鳩舎	上総連合会
2位	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
3位	稲垣　富二	鳩舎	ユーカリ連合会
4位	宮部二三朗	鳩舎	西湘連合会
5位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
6位	島口　和典	鳩舎	横浜連合会
7位	植竹　道夫	鳩舎	埼玉連合会
8位	西野宮秀夫	鳩舎	日立連合会
9位	早乙女　暹	鳩舎	横浜連合会
10位	萩原　英男	鳩舎	大千葉連合会

第5回　1992年

最優秀	高塚　久雄	鳩舎	日立連合会
2位	阿内　益雄	鳩舎	茨城セントラル連合会
3位	宮下　博	鳩舎	下総第二連合会
4位	岩田　誠三	鳩舎	東海連合会
5位	品掘二三男	鳩舎	ニュー仙南連合会
6位	大橋　憲夫	鳩舎	岐阜県連合会
7位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
8位	神田　隆夫	鳩舎	鎌ヶ谷連合会
9位	大沢ファミリーロフト	つくば南部連合会	
10位	アルファロフト	宮城中央連合会	

第6回　1993年

最優秀	増田　和雄	鳩舎	尾張連合会
2位	大高　繁	鳩舎	関東東部連合会
3位	江澤　孝吉	鳩舎	木更津東連合会
4位	鷲山　南芳	鳩舎	加越連合会
5位	矢内　富夫	鳩舎	横浜西部連合会
6位	住谷　勝三	鳩舎	水都連合会
7位	小林　秀一	鳩舎	新潟春日連合会
8位	高瀬二三夫	鳩舎	常南連合会
9位	浅野　栄	鳩舎	鹿島連合会
10位	西野　正八	鳩舎	尾張連合会

日本優秀鳩舎賞

第32回 2019年

最優秀	一文字ロフト	茨城東連合会
2位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
3位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
4位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
5位	柴田　茂昭鳩舎	東京南部連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
8位	矢口　忠鳩舎	常陸小川連合会
9位	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
10位	平野　幸夫鳩舎	東総連合会

第34回 2021年

最優秀	河原雅基鳩舎	ベイ東京連合会
2位	飛田輝明鳩舎	茨城北連合会
3位	住谷勝三鳩舎	豊中連合会
4位	KANDA LOFT	鎌ヶ谷中央連合会
5位	一文字ロフト	茨城東連合会
6位	黒田哲夫鳩舎	上総連合会
7位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
8位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
9位	古里治彦鳩舎	京都雅連合会
10位	冨田欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会

第35回 2022年

最優秀	米田幸由司鳩舎	なんば連合会
2位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
5位	飛田輝明鳩舎	茨城北連合会
6位	古里治彦鳩舎	京都雅連合会
7位	松浦邦彦鳩舎	茨城西連合会
8位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
9位	梅島秀章鳩舎	大静岡連合会
10位	荻谷純生鳩舎	茨城北連合会

第36回 2023年

最優秀	岡澤　豊次鳩舎	北総連合会
2位	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
3位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
4位	大沢ファミリーロフト	常北連合会
5位	鈴木周一鳩舎	埼玉中央連合会
6位	米田幸由司鳩舎	なんば連合会
7位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
8位	本橋博美鳩舎	多摩東部連合会
9位	鈴木・大内ロフト	茨城北連合会
10位	杉山弘紀鳩舎	ニュー埼玉東部連合会

第37回 2024年 NEW!

最優秀	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
2位	杉山弘紀鳩舎	ニュー埼玉東部連合会
3位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
4位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
5位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
6位	鳥飼　正鳩舎	埼玉大和連合会
7位	柳田雅幸鳩舎	北総連合会
8位	芝崎元彰鳩舎	埼玉北葛連合会
9位	本橋博美鳩舎	多摩東部連合会
10位	河原雅基鳩舎	京浜連合会

第26回 2013年

最優秀	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
2位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
3位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
4位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
5位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
6位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
7位	米倉　勝弘鳩舎	下総連合会
8位	柴田　茂昭鳩舎	東京南部連合会
9位	該当鳩舎なし	
10位	該当鳩舎なし	

第27回 2014年

最優秀	一文字ロフト	茨城東連合会
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
3位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
4位	米倉　勝弘鳩舎	下総連合会
5位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会
6位	神谷　中鳩舎	中京連合会
7位	長谷川　傑鳩舎	日本海連合会
8位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
9位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
10位	遠藤　宝鳩舎	富嶽連合会

第28回 2015年

最優秀	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
2位	うさぎロフト	茨城北連合会
3位	狩野　利一鳩舎	上総連合会
4位	神谷　中鳩舎	中京連合会
5位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	古川　正鳩舎	北都連合会
8位	早乙女節夫鳩舎	ニュー横浜連合会
9位	高塚　久雄鳩舎	茨日連合会
10位	長谷川　傑鳩舎	日本海連合会

第29回 2016年

最優秀	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
2位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
5位	矢口　忠鳩舎	常陸小川連合会
6位	横井　信治鳩舎	富山北連合会
7位	日暮　義一鳩舎	房総連合会
8位	宍戸　馨鳩舎	東金セントラル連合会
9位	うさぎロフト	茨城北連合会
10位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会

第30回 2017年

最優秀	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会
2位	小川安都志鳩舎	東金セントラル連合会
3位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
4位	うさぎロフト	茨城北連合会
5位	坪井　和利鳩舎	尾張連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	永江　洋二鳩舎	しらさぎ東連合会
8位	菅原　明鳩舎	阿賀北連合会
9位	該当鳩舎なし	
10位	該当鳩舎なし	

第31回 2018年

最優秀	ピグマリオンロフト	常総中央連合会
2位	古西　正二鳩舎	東総連合会
3位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
4位	うさぎロフト	茨城北連合会
5位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会
6位	奥住　豊鳩舎	埼玉中央連合会
7位	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
8位	狩野　利一鳩舎	上総連合会
9位	本間　正明鳩舎	札幌連合会
10位	石川　誠二鳩舎	川崎連合会

第19回 2006年

最優秀	河原　雅基鳩舎	ベイ東京連合会
2位	小林　晴夫鳩舎	愛知三州連合会
3位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
4位	小黒　良作鳩舎	長岡中央連合会
5位	石川　誠二鳩舎	川崎連合会
6位	中田　幸雄鳩舎	埼玉南部連合会
7位	永谷　準一鳩舎	尾張連合会
8位	釜井　盛司鳩舎	宇都宮連合会
9位	丹羽　和一鳩舎	三重第三連合会
10位	佐藤　守鳩舎	東京南部連合会

第20回 2007年

最優秀	神谷　中鳩舎	尾張連合会
2位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会
3位	宍戸　馨鳩舎	東金セントラル連合会
4位	谷澤　六雄鳩舎	埼玉草加連合会
5位	広沢　明鳩舎	川崎連合会
6位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会
7位	藤田　淳一鳩舎	尾張連合会
8位	中村　弘鳩舎	成田連合会
9位	高柳　芳男鳩舎	群馬中央南連合会
10位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会

第21回 2008年

最優秀	リバーサイドロフト	常総中央連合会
2位	藤田　淳一鳩舎	尾張連合会
3位	鯉沼　幾雄鳩舎	関東中部連合会
4位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会
5位	谷田部　誠鳩舎	中京連合会
6位	神谷　中鳩舎	尾張連合会
7位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
8位	早乙女義男鳩舎	埼玉草加連合会
9位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
10位	葛西　豊鳩舎	三重第三連合会

第22回 2009年

最優秀	八田　伸鳩舎	下総連合会
2位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
3位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会
4位	大津　宣夫鳩舎	埼玉草加連合会
5位	矢嶋　英夫鳩舎	埼玉利根連合会
6位	釼持　純一鳩舎	南房総連合会
7位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
8位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
9位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
10位	隈澤　剛鳩舎	船橋連合会

第23回 2010年

最優秀	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会
3位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会
4位	うさぎ鳩舎	水戸梅香連合会
5位	八田　伸鳩舎	下総連合会
6位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会
7位	中村・有田鳩舎	東愛知連合会
8位	大津　宣夫鳩舎	埼玉草加連合会
9位	藤田　淳一鳩舎	セントレア連合会
10位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会

第25回 2012年

最優秀	藤田　淳一鳩舎	セントレア連合会
2位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会
3位	神谷　中鳩舎	尾張連合会
4位	鹿島　成浩鳩舎	武蔵野連合会
5位	海老　利明鳩舎	富山連合会
6位	大橋　憲夫鳩舎	岐阜県連合会
7位	内山ロフト	遠州連合会
8位	斉藤　守可鳩舎	川崎連合会
9位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会
10位	及川　茂鳩舎	新日本連合会